

Ⅲ 畜産物の安全性確保と危機管理対策

1. 平成 28 年度備蓄用ワクチン等の検査実施状況

名称	ロット数	検査期間	検査項目
鳥インフルエンザ（油性アジュバント加）不活化ワクチン	1 ロット	H29.7.18～ H29.10.16	無菌試験、安全性試験、力価試験
豚コレラ生ワクチン（シード）	1 ロット	H29.8.21～ H29.9.5	ウイルス含有量試験
口蹄疫不活化予防液（3 価）	1 ロット	H30.3.9～ H30.4.13	特性試験、pH測定試験、無菌試験、不活化試験、異常毒性否定試験

2. 平成 29 年度動物用医薬品の使用に伴う事故防止・被害対応業務の実施状況

(1) 平成 29 年度に受けた苦情等の相談

番号	相談者	対象医薬品の種類	相談内容	当所の対応
29-1	一般	動物用一般医薬品	当該医薬品の副作用について	回答
29-2	一般	動物用一般医薬品	当該医薬品の副作用について	回答
29-3	公共団体	動物用生物学的製剤	当該医薬品の副作用について	回答
29-4	一般	動物用生物学的製剤	当該医薬品の副作用報告について	回答
29-5	一般	動物用一般医薬品	当該医薬品の副作用報告について	回答
29-6	一般	動物用医薬部外品	当該医薬品の副作用について	回答
29-7	一般	動物用医薬部外品	当該医薬品の副作用について	回答
29-8	一般	動物用一般医薬品	当該医薬品の副作用について	回答
29-9	一般	動物用一般医薬品	当該医薬品の副作用について	回答
29-10	一般	動物用一般医薬品	当該医薬品の副作用について	回答
29-11	一般	動物用一般医薬品	当該医薬品の副作用について	回答
29-12	獣医師・一般	動物用生物学的製剤	当該医薬品の副作用報告について	回答
29-13	一般	動物用生物学的製剤	当該医薬品の副作用について	回答

(2) 平成 27 ～ 29 年度に各都道府県から提供された野外流行株等の各都道府県からの収集状況

(単位は株数)

		27年度*	28年度*	29年度
変異や変遷等の指標 となる微生物	アクチノバシラス・プルロニューモニエ	—	50	49
	豚丹毒菌	—	39	19
	ヘモフィルス・パラスイス	22	—	—
野外微生物環境変化 の指標となる微生物	マンヘミア・ヘモリチカ	59	—	—
	鶏大腸菌症由来大腸菌	204	225	252
	牛及び豚(患畜)由来の大腸菌			
	パストツレラ・ムルトシダ	—	148	128
	サルモネラ属菌	169	126	— **
	黄色ブドウ球菌	83	213	— **
	クレブシエラ	16	—	—
合計		553	801	448

*平成28年度までの検査結果は当所ホームページに掲載中

**サルモネラ属菌及び黄色ブドウ球菌は、平成28年度から消費・安全対策交付金事業(薬剤耐性菌の発現状況調査)の中で菌株収集(サルモネラ:103株、黄色ブドウ球菌:254株)を行った。